

令和元年度台風19号災害 藤野地区の報告

～地域での支えあいを考える～

藤野地区社会福祉協議会 会長 小池 和代

相模原市社会福祉協議会

(相模原市ささえあいセンター 藤野地区センター)

職員 松岡 秀樹

藤野地域の紹介

藤野地区の状況

(R3.10.1)



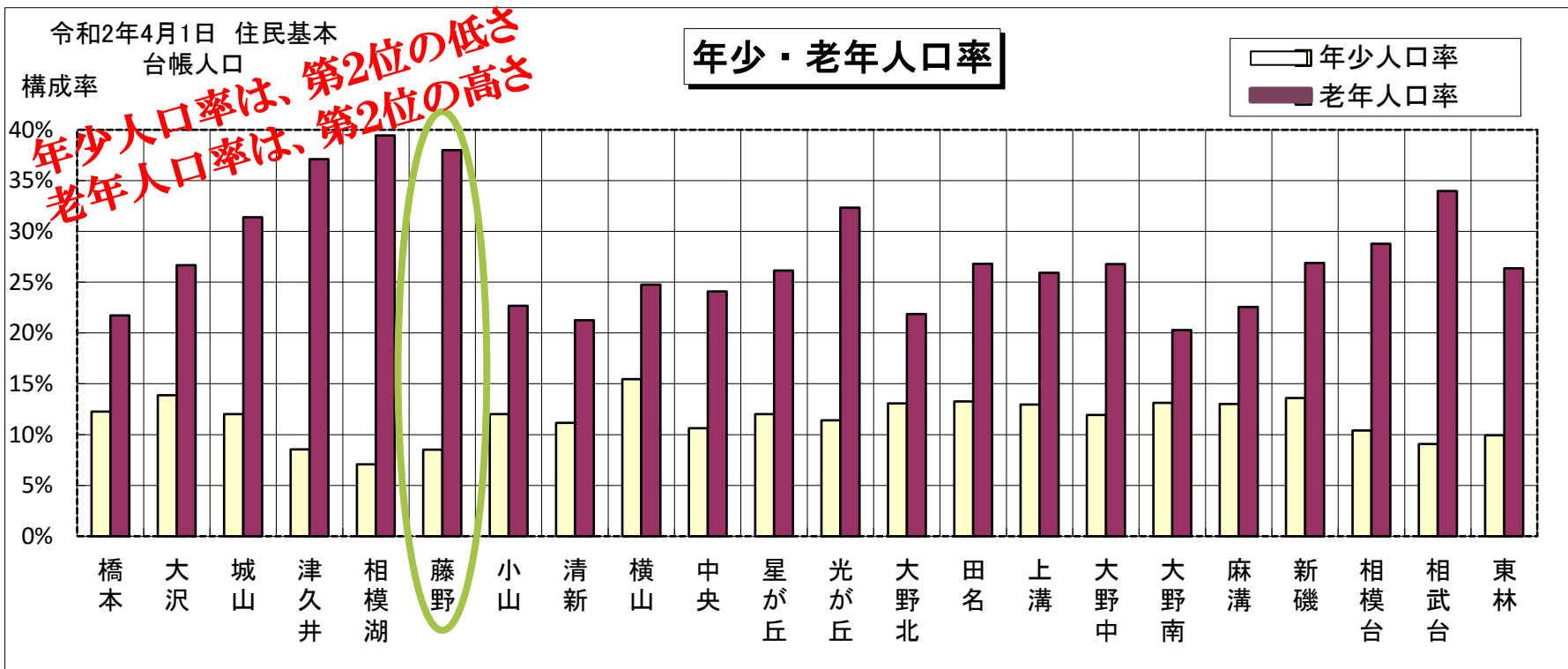
- ・人口 8,169人
- ・高齢者人口 3,133人(38.4%)
- ・0-14歳人口 724人(8.9%)
- ・自治会数50
- ・小学校3校、中学校1校
- ・公民館4か所
- ・駐在所5か所



【相模原市と旧津久井郡 合併経緯】

- 平成18年3月20日 相模原市と旧津久井町・旧相模湖町 合併
- 平成19年3月11日 相模原市と旧藤野町・旧城山町 合併
- 平成22年4月 相模原市が政令指定都市・区制

少子高齢化の藤野



年齢別人口割合

	人口 (人)	年少人口率 0から14歳	生産年齢人口率 15歳から64歳	老年人口率 65歳以上	平均年齢 (歳)
相模原市	717,756	11.9%	62.3%	25.7%	46.34
緑区	169,776	11.6%	60.5%	27.9%	47.18
上溝地区	33,599	12.9%	61.2%	25.9%	46.04
藤野地区	8,286	8.5%	53.5%	38.0%	53.43

藤野地区の特徴

主な地域課題

- 中山間部で小さな集落が点在
- 少子高齢化市内第2位
- 人口減少傾向、限界集落・消滅集落に近づきつつある地域もある
- 山坂が多く移動が負担
- バス路線の減少
- 独居、高齢者のみ世帯が増加傾向
- 商店が少ない（大型スーパーはない）

強味

- 自然環境や温泉資源に恵まれている
- 古くから住む住民が多く近隣の助け合いがある
- 芸術家が多い
- 地域イベントが盛んで、外からの観光者も多い
- 自然を求め移住する若い世代もいる。

台風19号の被害状況 と 災害ボランティアセンターの設置



相模原市内における被害状況

相模原市は緑区を中心に

土砂崩れ、浸水等により、甚大な住家・人的被害が発生

【住家被害】

区分	棟数	世帯数	人数
全壊	22	21	34
半壊	45	43	101
一部破損	107	97	318

※半壊のうち、床上浸水20棟 一部破損のうち、床下浸水46棟

【人的被害】

死者	行方不明者	重症	軽傷	死傷者合計
8名	0名	1名	2名	11名

災害ボランティアセンターの設置

「災害時における社会福祉法人相模原市社会福祉協議会の協力に関する協定(平成13年4月1日締結)」に基づき、

相模原市からの要請を受け、

10月17日(木)付け、当該地区の地域住民等に対する災害ボランティアによる支援を行うため、

津久井、相模湖、藤野 の3地区に災害ボランティアセンターを設置

災害ボランティアセンターの概要

- 市内3か所にボランティアセンターを設置

- 設置場所

- ・津久井地区センター 津久井総合事務所内(緑区中野)
- ・相模湖地区センター 相模湖総合事務所内(緑区与瀬)
- ・藤野地区センター 藤野総合事務所内(緑区小漕)



災害ボランティアセンター 開設の動き

10月12日(土)	台風第19号 本州上陸
10月14日(祝)	4地域 被害状況確認
10月15日(火)	市役所と市社協にて、災害ボランティアセンター開設に向けた打合せ
10月16日(水)	・ニーズ把握のため 民生委員・児童委員への協力依頼(定例会) ・VC運営準備(開設場所・書式・資機材調達、ボラセン運営用、ボランティア活動用・チラシ(ボランティア依頼者向け・ボランティア活動希望者向け)・地元団体との打合せ・ホームページでの情報発信・行政との打合せ・メディア対応・・・
10月17日(木)	相模原市災害ボランティアセンター 開設 災害ボランティア派遣依頼(困りごと)の受付開始
10月19日(土)	災害ボランティア活動者の受付開始 (雨のため中止)
10月20日(日)	災害ボランティア活動開始初日
10月25日(金)	地元新聞販売店協力でチラシの折り込みによるニーズ募集

運営スタッフと運営協力

- 運営スタッフ

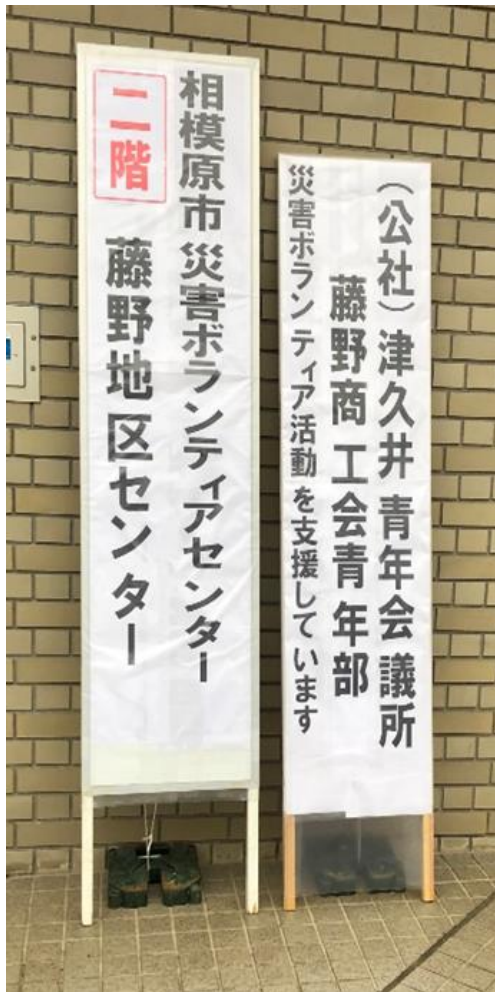
ほぼ市社協職員で構成。市職員派遣。
※後に津久井センターのみ県社協協力のもと、県内社協職員の派遣

- 運営協力

青年会議所、商工会青年部、他

- 時間

- | | |
|------------------|-----------|
| ・ボランティアセンター開設 | 午前9時～午後5時 |
| ・災害ボランティアの活動時間 | 午前9時～午後3時 |
| ・ボランティアの支援に関する相談 | 午前9時～午後3時 |
| ・ボランティアの活動に関する相談 | 午前9時～午後5時 |



ボランティア活動手順

受付



オリエンテーション



送り出し



帰着・洗浄・消毒



主な活動内容について

- ・土砂の掻き出し
- ・土のう詰め
- ・土のう積み
- ・土砂流入予防

- ・家財の移動
- ・災害ゴミの撤去









ボランティア活動件数

○支援件数

項目	相談	完了	継続	保留	他対応等
津久井	134件	112件	1件	3件	18件
相模湖	37件	31件	1件	0件	5件
藤野	56件	30件	1件	7件	19件
合計	227件	173件	3件	9件	42件

○ボランティア活動者数

項目	活動者総数	個人	団体
津久井	1,987人	1,437人	68団体 550人
相模湖	752人	588人	13団体 164人
藤野	715人	477人	24団体 238人
合計	3,454人	2,502人	105団体 952人

多くの方との出会いから
感じたこと…

たくさんのお出会いがありました…

○地域の若い方々との出会い

- ・青年会議所、商工会青年部、移住の若者
ボーイスカウト

○全国各地からのボランティア

- ・以前の地震や台風の被災地でお世話になった恩返し

○依頼者(被災者)

いろいろな立場の方が動いていた！

藤野の底力！

自治会、民生委員・児童委員・・・ニーズ把握

まちづくりセンター・・・ ○自治会からのニーズ確認、調整等
○避難所設置(牧野公民館)

高齢者支援センター・・・ ○要援護高齢者の安否確認

NPO法人篠原の里(旧篠原小学校拠点)・・・自主的に避難所開設

やまなみ温泉・・・ ○被災した方、自衛隊等の救護者、災害ボランティア活動者に無料でお風呂を提供

ボランティア活動・・・○災害ボランティアセンター

- ・青年会議所、商工会青年部 と共に調査・活動
- ・全国からのボランティア(個人・団体)
- ・地区社協(駐車場係、他)

○ ご近所での助け合い

○30～40代の若者(SNSで発信)

(主に移住の若者たちのネットワーク)

ボランティアを募り、避難所での活動等を行った。
食材・衣類・布団・電化製品等の調達、話し相手等

災害ボランティアセンターから ささえあいセンターへの移行

(1) 移行の検討

災害ボランティアセンターを開所して約1か月を経過した段階で、災害ボランティアに係るニーズの再調査を協力団体等と実施

11月13日(水)	民生委員定例会で要援護世帯への周知依頼
11月14日(木)	自主防災隊に調査依頼
11月28日(木)	自治会長会議で現状把握

(2) 移行の考え方

被災者のニーズが「応急対応」から「生活再建」に移行してきている状況を踏まえるとともに、市が、12月10日に「相模原市災害対策本部」を廃止。

同本部が行っていた応急対策活動を「相模原市復旧・復興推進本部」に引き継いだことに合わせて、被災に起因する心身の機能低下、経済的な不安、孤立・孤独等、生活全般にわたるニーズに、福祉的な相談支援により対応するため、「災害ボランティアセンター」から「ささえあいセンター」への移行を図った。

12月10日(火)	3地区の災害ボランティアセンター閉所
12月11日(水)	4地区のささえあいセンター設置(城山地区追加)

(3)「ささえあいセンター」の機能

- ア 移行後も、被災地域の居住地の土砂の片付け、家財の搬出等への災害ボランティア活動に対応
- イ 「相模原市復旧・復興推進本部」及び各地区の市保健福祉課等と連携し、被災に起因する日常生活での「不安なこと」「困りごと」を把握。
行政等「公的なサービス・専門相談窓口」へのつながぎを行うとともに、民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会、ボランティア等と連携し、「地域の支えあい活動」を通じた、孤立・孤独の予防、解消への取組等、被災された方々に寄り添う地域づくりを推進

社会福祉法人相模原市社会福祉協議会

ささえあいセンター

台風第19号で被災された皆様の「不安」に寄り添い、
生活全般の「困りごと」を一緒に考えます。



ご相談ください

被災によって生じた日常生活での「困りごと」、「不安なこと」は、ありませんか？



この先のことが不安…

利用できる制度
や福祉のサービスがあるのかな？

誰に何を相談したら良いのかわからない…

お話しませんか

被災して辛かったことや困ったこと、楽しかった昔の思い出等々…
相談ごとが無くて構いません。一緒にお話をうかがいます。



誰かとお話をして気分を変えたいな…

「サロン」は、いつやっているのかな？
この地区の情報が知りたいな…



ささえあいセンターの職員が、
訪問・電話等でお話をうかがいます。
お気軽にご相談ください。



★居住地の土砂の片づけや家財の運び出しなど★
★災害ボランティアのご依頼も、ご相談ください★

社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 藤野地域事務所

ささえあいセンター藤野地区

〒252-5152 相模原市緑区小淵 2000 (藤野総合事務所内)

電話 042-687-3361

(受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時)

○所長、担当職員、相談員 3名体制

○災害ボランティアセンター派遣世帯、みなし仮設居住世帯、地区社協見舞金対象世帯を対象とし、65件訪問して状況を確認。

○土嚢袋の交換1件、ブルーシート交換2件、土砂掻き1件、再建に向けての相談1件

○市が整備できない民地における被害も多く、「なかなか復旧が進まない」という相談が多い。





課題

災害ボランティアセンターの 運営について

○他機関との事前調整・連携

- ・行政：場所などのハード面の調整等
- ・青年団体等：役割分担の調整等

○運営の事前調整・連携

- ・災害を想定して、場所、人の配置等
- ・バックアップ体制

地域で起きていたこと...

①発災当初、ご近所で土砂かきを実施していた

ご近所で声を掛け合ってたすけあいの活動が行われていた。

➡普段から顔の見える関係をつくることが大切であり、ご近所づきあいやサロン活動、見守り合いなどを充実させていくことが重要だと実感。

②藤野地域は土砂崩れ・河川氾濫が甚大な被害を及ぼした

被害は一帯ではなく局所的に起こっていた。

➡被害がない地域の住民からは、被害の大きさなどの情報や災害ボランティアセンターの情報が行き届いていなかったため、活動に参加できなかったとの声があった。

地元での情報の共有化、協力体制

今後…

コロナ禍における

災害ボランティアセンターについて

- センターの設置場所は、災害の規模等によって、市と市社協が協議して決めることになっている。どこにセンターが設置されるかは未定。
- 新型コロナウイルス感染症の関係**でボランティア募集を県内、市内等で行う方向。
また、密を防ぐために昨年より少人数での活動になりそう。

➡ さらに 地元住民の力が必要となる！



藤野地区社協の事業について

藤野地区社協の主な事業

★児童への福祉啓発、子育て支援

- ・ミルククラブの運営・実施（週2回）
- ・幼児教室への支援
- ・幼児ふれあい交流事業
- ・ぽっかぽかぬくもり赤ちゃん支援事業
- ・小学生ふれあいスクール

★高齢者の福祉

- ・のびのびクラブ（高齢者サロン）
10カ所への活動支援
- ・お元気ですか！訪問事業
（民生委員の協力）

★障がいのある方への福祉活動

- ・アップルクラブの開催
- ・障がいのある方の理解を促進

★ボランティア活動の活性

- ・ボランティア講座
- ・ボランティア活動助成

★地域福祉の推進

- ・藤野福祉コミュニティ推進会議
- ・地域の助け合い「おたがいさまネットふじの」の運営
- ・コミュニティサロンたまり場
9カ所への活動支援
- ・福祉のつどい
- ・物品貸出事業
- ・災害見舞金の支給
- ・地区社協関連団体助成及び
当事者団体助成

★啓発、情報発信

- ・地区社協つうしんの発行
- ・地域イベントでの広報活動

藤野地区社協



ふれあいスクール



ミルククラブ



ほっかほかあかちゃん
支援事業



ボランティア講座



福祉のつどい



たまい場
(コミュニティサロン)



福祉体験



のびのびクラブ
(高齢者サロン)



おたがいさまネットふじの

藤野地区社会福祉協議会

おたネット

おたがいさまネットふじの



お家の中の困りごと
ご相談ください

例) ゴミ出し、電球交換、簡単な荷物の移動、
お話し相手、囲碁や将棋の相手・・・など



【相談窓口】

相談日：毎週火曜日 午後1時～3時

場所：藤野総合事務所2階

ボランティアルーム

◎住民の困り事相談

コーディネーターが高齢者世帯や子育て世帯などのちょっとした困りごとの相談をお受けします。

◎サポーターの登録

「お手伝いしてみたい」という方を募集中！

★利用料金

15分以内100円、30分以内250円
1時間以内500円（一人当たりの料金）

●連絡先

おたがいさまネットふじの（火13:00～15:00）

専用電話 080-2565-5013

藤野地区社会福祉協議会（月～金8:30～17:00）

電話 042-687-3361

FAX 042-687-4049





藤野地区社協の 災害支援の取り組み

藤野地区社協で行ったこと…

●災害ボランティアセンターの手伝い

- ・全理事 ボランティア保険加入
 - ・外から来るボランティアの駐車場係り
 - ・土嚢や災害ごみ、引越しの手伝いなどの車での運搬
- *個人でも土砂かき等のボランティアに参加してくれていた

●避難所への支援物資のお届け

牧野公民館、篠原の里 に お米、お茶

●災害見舞金の支給

延べ39件(死亡、重症、全壊、半壊、一部損壊)

*寄付も寄せられました

(市地区社協連絡協議会、藤野地域住民 等

今後の災害に備えて…

災害ボランティアセンター 協力員について

災害ボランティアセンター協力員とは

この地域周辺に災害が起こり、災害ボランティアセンターが開設された時に、地元の協力者としてボランティアセンターを支えていただく方のことです。

何をするのか？

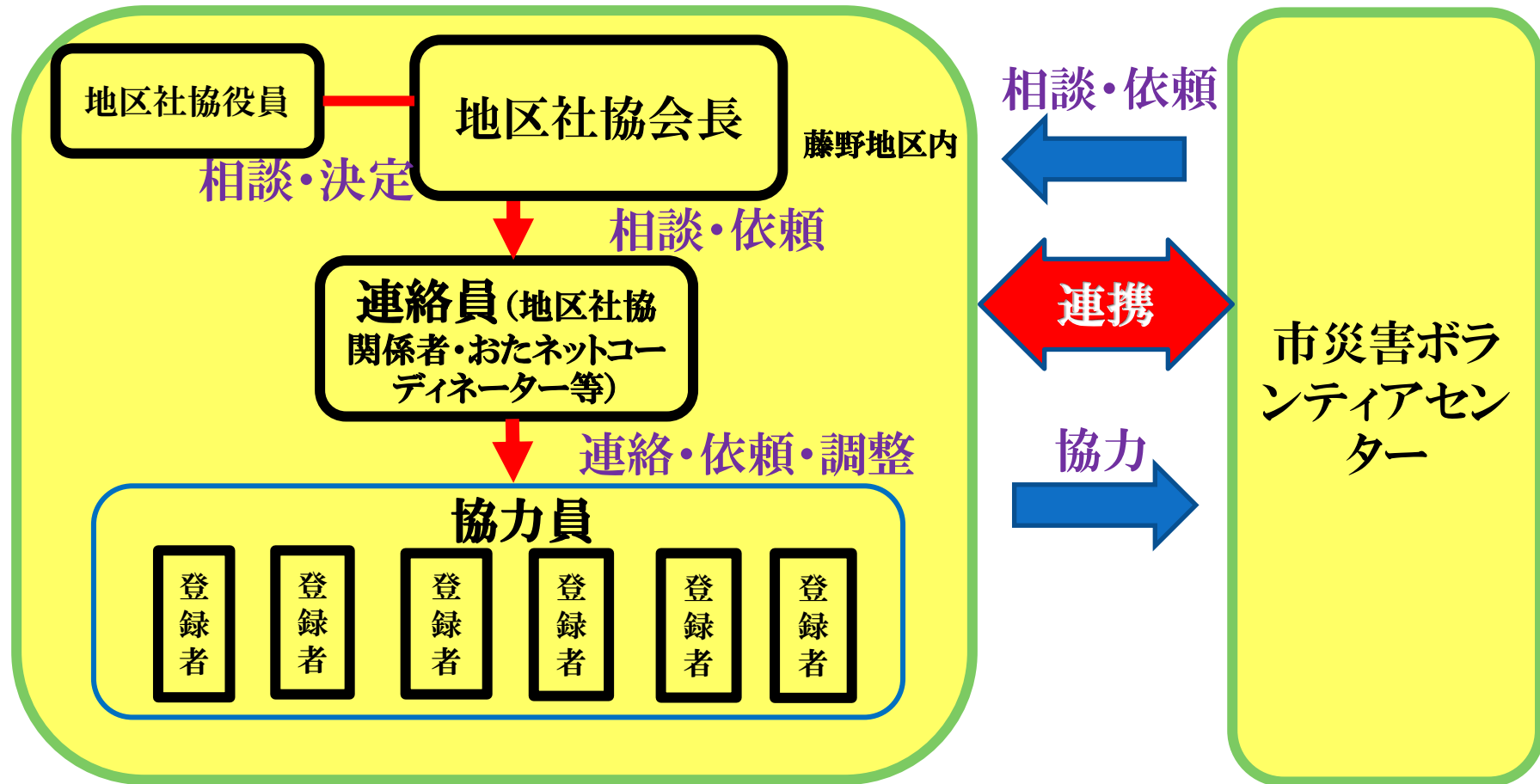
- 例) ○ボランティアの受付
○ボランティアが現地（活動場所）まで行く道案内
○ボランティアの駐車場係 等
あくまで

✗ 泥出し等を行う災害ボランティア（力仕事等）ではなく

○ **災害ボランティアセンターのお手伝い**

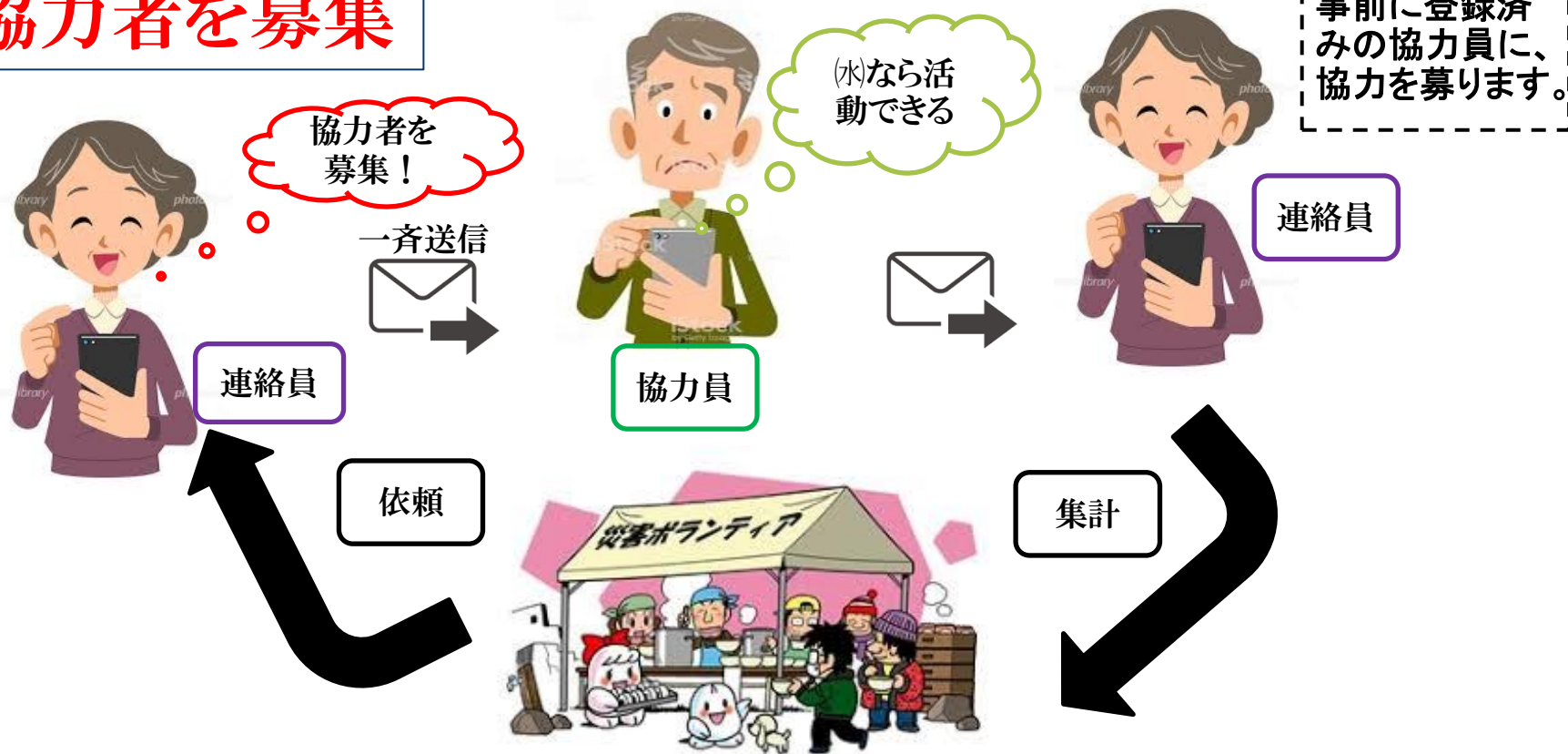


災害ボランティアセンターとの関係図



災害ボランティアセンター開設後のイメージ図

協力者を募集



最後に...